

川の再生交流会 2026

令和8年2月14日(土)
埼玉会館

第1部 全体会

10:00~12:00

基調講演 <2頁~10頁>

「埼玉県の下水道と八潮市道路陥没事故の概要」

埼玉県下水道事業管理者 北田 健夫

事例発表 <11頁~22頁>

「綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦について」

埼玉県河川環境団体連絡協議会 大石昌男氏

「県内河川の水質改善の取組について」

埼玉県環境部水環境課

「熊谷女子高等学校自然科学部の活動紹介」

埼玉県立熊谷女子高等学校自然科学部

リバサポアワード 授賞式 <23頁~28頁>

第2部 ポスターセッション

12:15~13:15

配置図 <29頁>

発表の概要 <30頁~37頁>

第3部 分科会

14:00~16:15

テーマ一覧、分科会会場マップ <38頁~39頁>

主催：埼玉県
協力：埼玉県河川環境団体連絡協議会



県のマスコットコバトン



第1部 全体会

■事例発表

埼玉県河川環境団体連絡協議会 大石 昌男氏

綾瀬川水質ワーストワン脱却とことん大作戦市民団体ネットワークの責任者。

浄化槽フォーラム全国理事 埼玉代表。

河川の水質改善のため、地元や学校に対する講座を開くなどの活動を牽引。

埼玉県立熊谷女子高等学校 自然科学部

（自己紹介）

熊谷女子高校自然科学部は1年生4人、2年生3人の7人で生物班と化学班に分かれ活動しています。現在は、生物班では「ムサシトミヨの生態」「グッピーの飼育水を利用したアクアポニックス」、化学班は、自然界にみられるメノウの縞模様のような同心円状沈殿現象「リーゼガング現象」について研究を行っています。また、地域の自然観察や環境保護活動にも参加しています。今年度は埼玉県科学教育振興展覧会中央展で両チームとも優良賞を受賞しました。また、化学班は来年度の総文祭への出展も決まっています。生物班は、日本薬科大学主催の日薬ハイスクール科学・探究発表会で最優秀賞を受賞しました。今後も発表会等に参加し、研究成果を発表していきたいと思います。

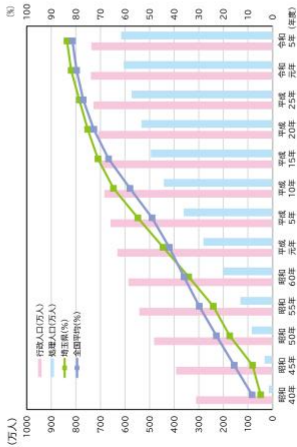
■リバサポアワード授賞式

みんなで選ぶ「リバサポアワード」は、川の保全・共生に向けた活動の活性化に向け、川での優れた活動や川の魅力を伝える画像・動画を県民の皆さんに選んでいただき、広く発信するものです。授賞式では、各部門を受賞された皆様を表彰します。

埼玉県の下水道

下水道の整備

- 1931年(昭和6年)に川越市で初めて事業着手
- その後、1939年(昭和14年)に川口市、1950年(昭和25)に行田市、以降、久喜市、大宮市、秩父市、1955年(昭和30年)には浦和市で下水道整備に着手



昭和40年以降、急速に整備が進捗



3

埼玉県の下水道 と 八潮市道路陥没事故の概要

1 埼玉県の下水道について

- ・下水道の整備
- ・公共下水道と流域下水道
- ・下水道が流れる仕組み
- ・下水道管の種類
- ・下水道使用料

2 八潮市道路陥没事故の概要について

- ・事故対応経過
- ・復旧工事
- ・抜本的な対策
- ・今回の事故をうける課題

P2～9

P10～34

公共下水道と流域下水道

埼玉県の下水道

公共下水道とは？

家庭や工場などの事業所からの下水を直接受け入れる下水道

単独公共下水道

公共下水道のうち下水処理場があるもの(県内18か所)

流域下水道

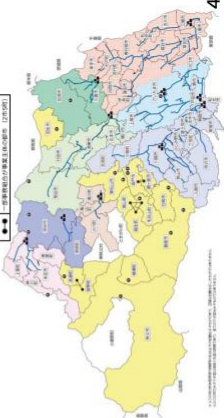
複数の市町の公共下水道から排出される下水をまとめて処理する広域的な下水道

埼玉県の流域下水道

- ・直径が4m以上の下水道管もある。
- ・県全域の流域下水道管を合わせると、439km(さいたま市から神戸市まで)
- ・処理人口は565万人(公共下水と併せると616万人)



令和5年度末
下水道普及率
83.6%
(全国14位)



4



埼玉県下水道局 2

埼玉県の下水道

下水が流れる仕組み

✓ 下水道管には、自然な勾配がついている
→自然に流下する。

なぜなら…
下水道管を曲げたり、圧力で流すと、詰まったり損傷するため。

✓ 適正な勾配を決めている。

緩→土砂や汚物が堆積する
急→地下深くまで掘らなければならない

✓ 中継ポンプ場とは
流れてきた下水を、ポンプの力を使って地表近くまでくみ上げ、再度自然に流下するよう下水道管へ流す。

5

埼玉県の下水道

下水道管の種類

雨水管
道路などに降った雨水が流れる。

汚水管
お風呂や料理などで使った生活排水が流れる。

雨水が降った際に浸水被害が起きにくいよう、道路に溜まった雨水を排水するため。

汚水による臭気を防ぐため、蓋に穴がありません。

参考：神奈川県下水道公社

6

埼玉県の下水道

下水道の種類

合流式
汚水管と雨水管が1本の管に流れているもの

分流式
汚水管と雨水管がそれぞれ分かれているもの

○ 設備投資が比較的少なく、早期に下水道を普及可能
× 大雨で雨水の量が増えると、マンホールから溢れる原因

○ 雨天時にも、比較的安定して処理がしやすい
× 建設費がかかる。他の埋設物との干渉を懸念。

7

埼玉県の下水道

(参考) 浄化槽とは？

浄化槽
トイレなど生活排水を処理する機能を持った設備のこと
浄化後は、川や海に放流される。

埋設前の浄化槽
地下に埋設された浄化槽

下水道事業を行っている市町村にお住まいの場合でも、周りに民家が少なかったり、下水道管が引けない場所は浄化槽を使っています。

8

事故対応経過
陥没穴からの救出


八潮市道路陥没事故 バキューム車での移送・河川への緊急放流

1月28日（火）から

1月29日（水）から

バキューム車での移送

春日部中継ポンプ場から
河川への緊急放流




15

事故対応経過
陥没穴からの救出

八潮市道路陥没事故 スロープ整備、がれき・支障物の撤去

1月31日（金）から スロープ整備

2月7日（金）農業用水ボックスカルバート撤去



16

事故概要

八潮市で発生した道路陥没事故について

■中川流域下水道の概要（令和5年度末時点）

- 処理区域面積 約1.7万ha（約1.4万ha）
- 処理人口 約143万人（約123万人）
- 汚水量（日量） 489,784m³/日
- 管渠施設延長 121km（100km）
- 普及率 83.3%
- 開閉所 11市4町（9市3町）

※青字は陥没事故の発生した中央幹線に隣接する部分


■陥没箇所の地盤状況等

- N値の低い砂・シルト
- 地下水位が高い
- 地中埋設物が数多く複雑



事故対応経過
陥没穴からの救出

八潮市道路陥没事故 陥没箇所 全景



01月28日（火）

03月25日（火）


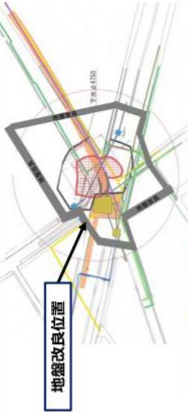

04月29日（火）

02月28日（金）

14

事故対応経過
二次災害防止

八潮市道路陥没事故 陥没箇所周辺の地盤改良



2月19日（水） 避難区域を解除

17

事故対応経過
土木的措置による救出

八潮市道路陥没事故 バイパス工事・掘削工事（土木的措置）の概要



バイパス工事
（仮排水管）

掘削工事
（キャビンに向けて掘削）

19

事故対応経過
説明会等

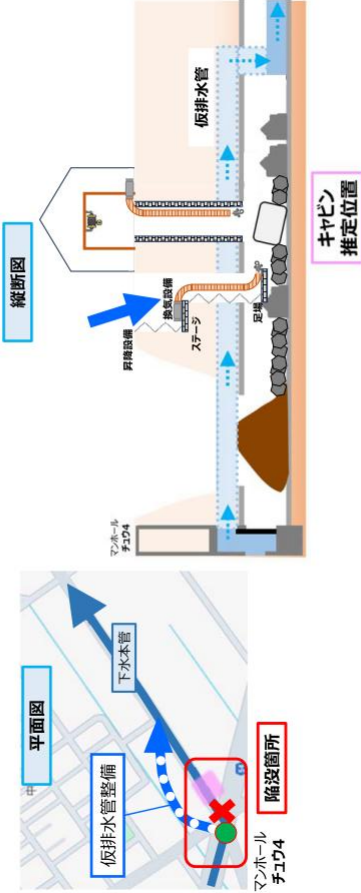
八潮市道路陥没事故 住民説明会等の開催

令和7年2月5日（水）～ 電話相談窓口 下水道管理課内	令和7年8月22（金）～24日（日）（計8回） 補償説明会（計8回） やしお生涯学習館ほか
令和7年2月22日（土） 説明会 八潮メセナホール	令和7年11月23日（日） 炭化水素に関する講演会 やしお生涯学習館
	令和8年1月30日（金）～2月1日（日）（計4回） 復旧工事に関するオープンハウス 八潮メセナ会議室
令和7年5月17日（土）・18日（日） 工事説明会（計4回） 八潮メセナ会議室	
令和7年6月2日（月）～19日（木） 個別相談会 八潮市商工会館ほか	

18

事故対応経過
土木的措置による救出

八潮市道路陥没事故 土木的措置のイメージ



縦断面

平面図

陥没箇所
マンホール
マンホール
マンホール

仮排水管整備

下水本管

仮排水管

キャビン
推定位置

20

復旧工事

復旧工事 (断面図)

復旧工事 (平面図)

復旧工事 (縦断面図)

下水道本管 (破損管)

充填材

鋼製セグメント (新設管)

管更生

組立用構台

仮排水管

復旧管

組立用構台

23

復旧工事

復旧工事 (新設管) の設置

断面 (イメージ)

鋼製セグメント (新設管) の設置

管更生

施工前

施工後

24

事故対応経過
土木的措置による救出

八潮市道路陥没事故 バイパス工事・掘削工事 (土木的措置) の概要

① バイパス工事完了 (仮排水管)

② 掘削工事 (キャビンに向けて掘削) 鉛直方向から

③ 掘削工事 (キャビンに向けて掘削) 上流側から

25

復旧工事

復旧工事の概要

① 下水道管の復旧 (管敷設・管更生)

② 仮雨水管の撤去 雨水管の本復旧

③ 仮排水管の撤去

④ 道路の復旧

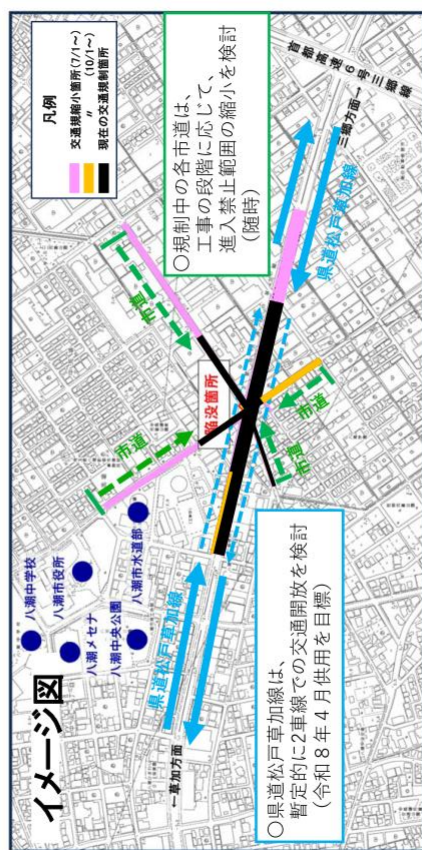
22

復旧工事の工程について

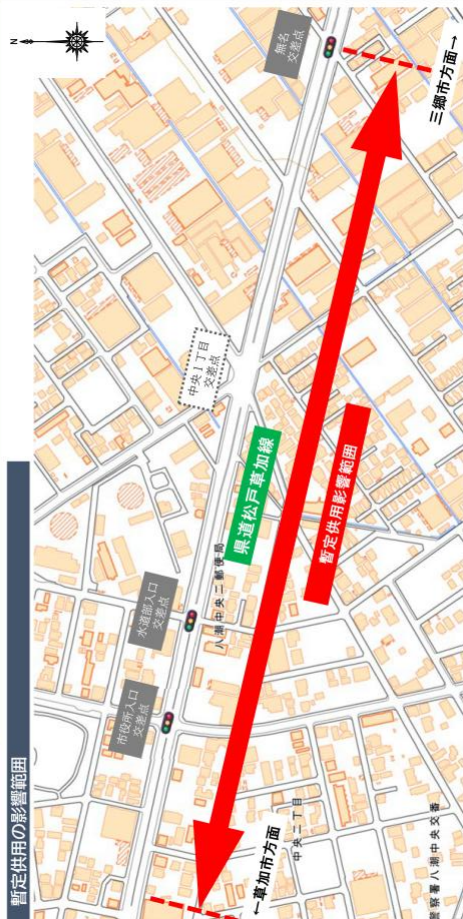
	令和7年度	令和8年度 以降
下水道管の復旧	4月 ガラ撤去、地盤改良等 管敷設、管更生 管布設は年内完成を目標	5月 埋戻し、仮排水管撤去
道路の復旧	6月 雨水管 仮復旧	7月 雨水管 本復旧
※県道の 暫定2車線供用	8月 測量・設計、支障物撤去等 道路工事 暫定2車線での4月供用を目標	9月 測量・設計、測量・設計等 ルーフト検討・測量・設計等
根本的対策 (緑線化工事)		10月 工事

※今後の現場状況によって、工程が変更となる場合があります。

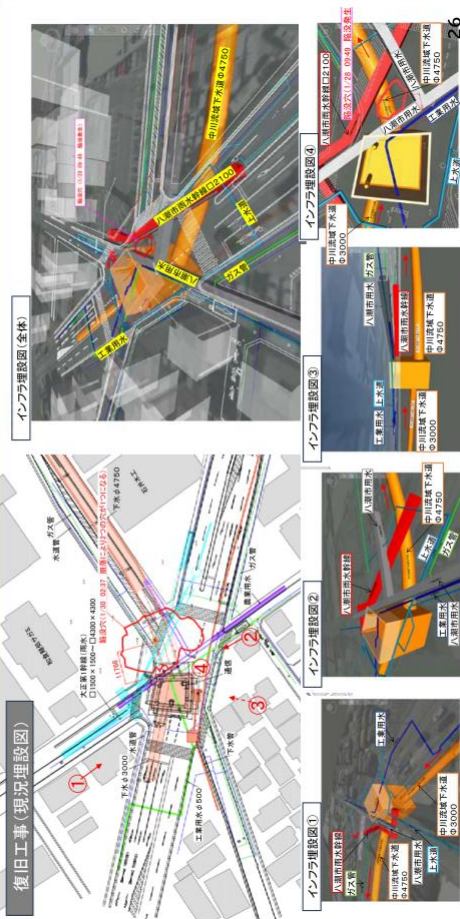
復旧工事
交通規制について



道路の復旧（県道の暫定2車線供用）



その他インフラ施設の状況



課題等

今回の道路陥没事故を受けての課題等

①事故と災害の複合現象

事故から災害に移行した初のケース
消防の救助活動から土木的措置への円滑な移行・連携に課題
・複合事例における危機管理体制

②事故の原因究明

埼玉県では国の規定よりきめ細かく下水道管内を点検調査
3年前の調査でも特別な異常ではなく、変化が急速に進展・顕在化した可能性
・適切な原因究明が必要
・点検調査が適切に十分であったか

③点検・調査

『管の腐食』に関する調査の基準
・ランクA(重度):鉄筋露出状態
・ランクB(中度):骨材露出状態
・ランクC(軽度):表面が剥けた状態
(下水道維持管理計画 第4版編 2014年版)
当該箇所の前回(令和3年度実施)の管渠調査の判定結果は、
『管の腐食:ランクB(中度)』

配管管径:φ1,200
二重管径:φ1,200
立上:1.5m
事故が発生した区間の管渠の標準断面(単位:mm)

33

課題等

今回の道路陥没事故を受けての課題等

④流域下水道の維持管理・更新

管径3m以上の流域下水道はこれまで更新の実績なし
管更生は、流速や水梁が高い場合は適用不可
今回のパイプ工事も前例がない工事
・ 日常の維持管理を考慮した施設計画
・ 点検・調査や更新の手法の確立、負担のあり方の整理

今後の技術的対策の方針

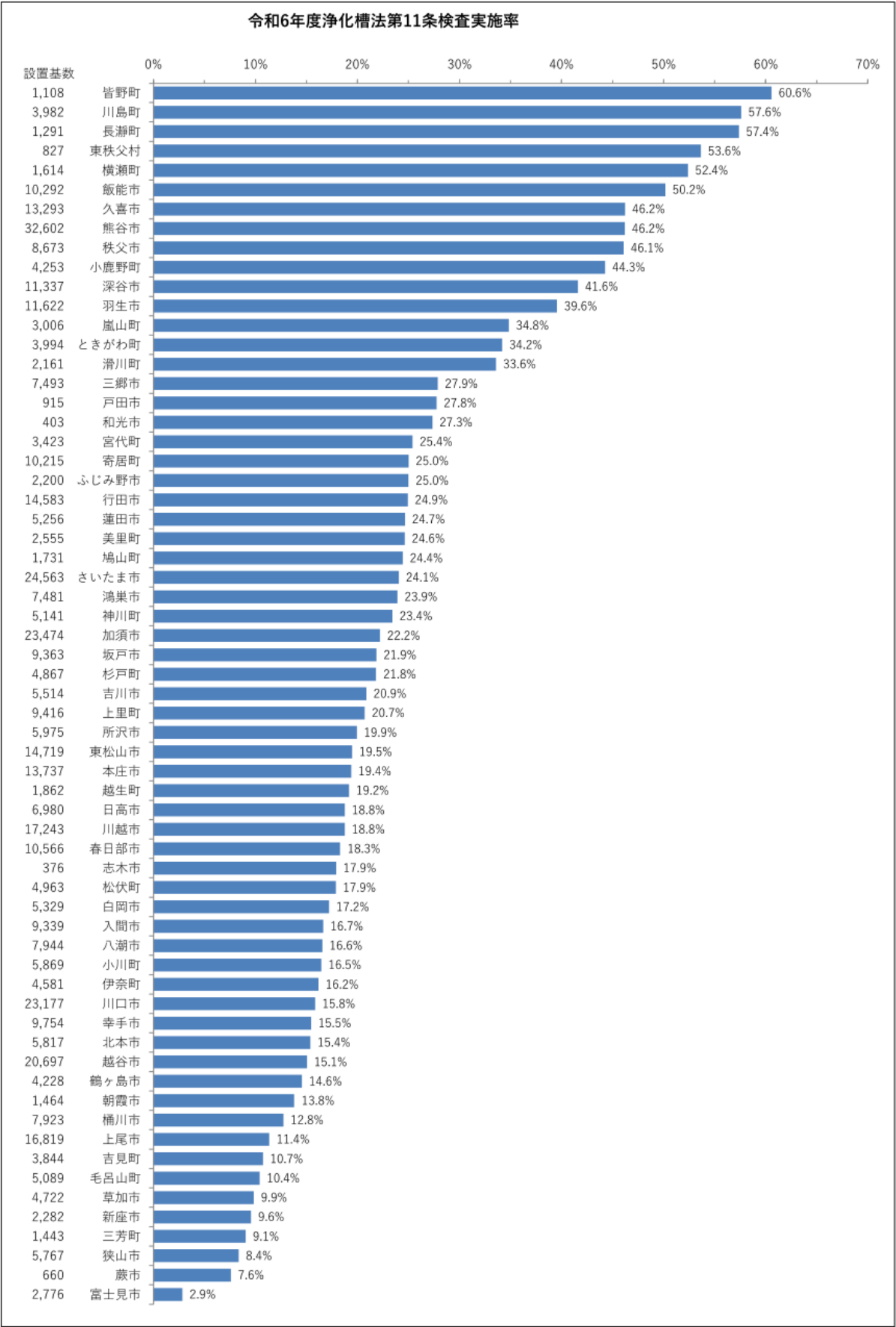
管更生工法のイメージ
再生工法の一例
再生前
再生後
土壌(再生工法の材料より)

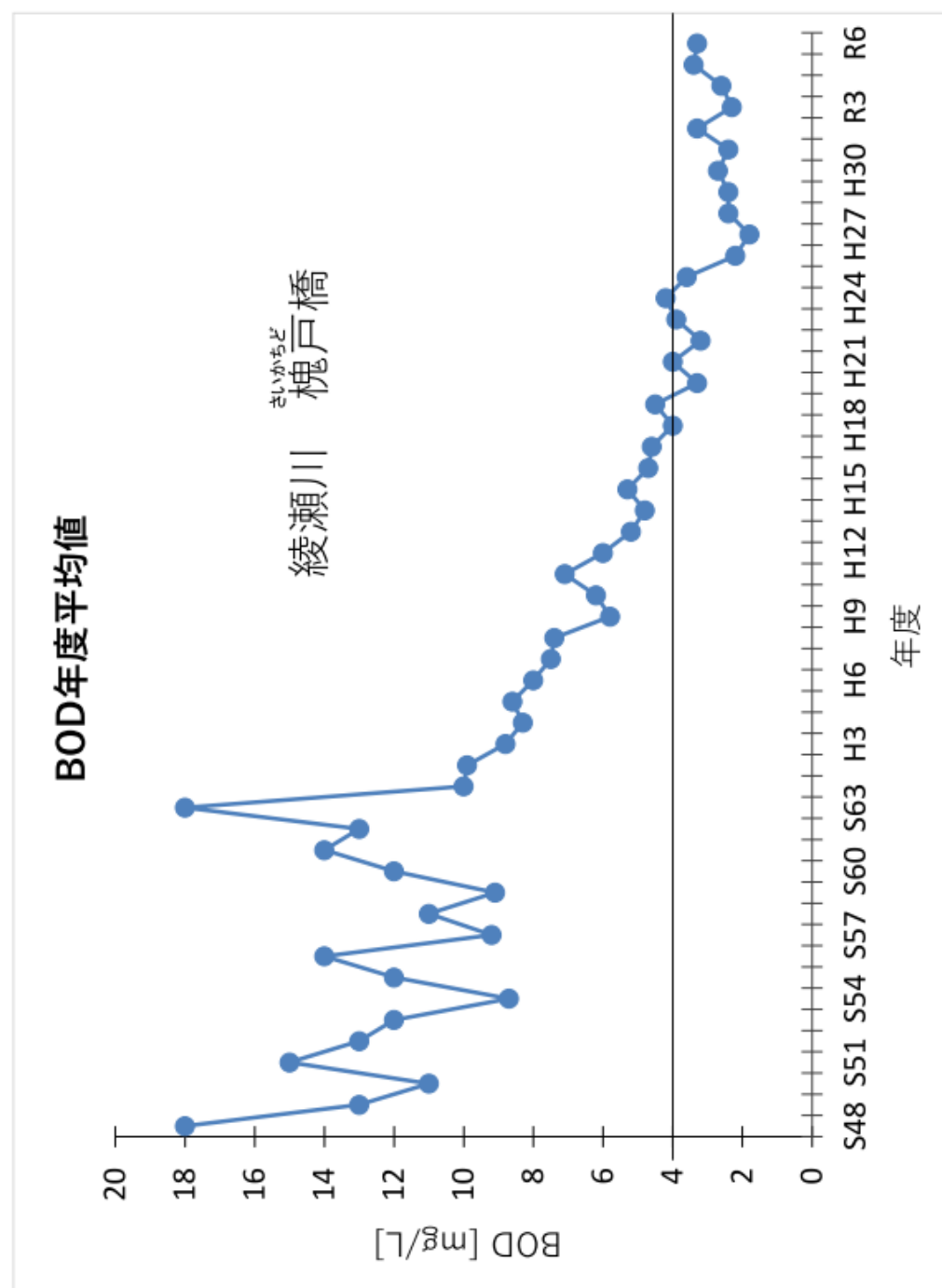
維持管理性やリダンランシーの確保等も踏まえ、
中央幹線下流部の複線化 を行っていく方針

34

上水道と下水道の違い		
県が管理する大規模・広域的な上水道と下水道を比較すると…		
	上水道	下水道
管径	最大2,000mm	最大4,750mm
埋設の深さ	圧送しているため勾配の必要がなく、標準土被り1.2m	自然流下のため下流ほど深くなり、深い所は土被り20m
水の流れ	圧送しているため要所のバルブで調整可能	自然流下のため止められない
漏水・溢水が発生した場合の影響	衛生・環境面での大きな影響はない	衛生・環境面での影響が生じる
作業環境	なし	硫化水素 可燃性ガス

■事例発表 綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦について






埼玉県

『県内河川の水質改善の取組について』

埼玉県水環境課



埼玉県マスコットキャラクター「さいたまちゃん」

1

埼玉県

川の再生基本方針（目標・基本方向）

埼玉が持つ 川のポテンシャル

清流の復活

水環境の改善
（水質・水量）

川の浄化
ムーブメント

基本方向
循環的・持続的な
ムーブメント

川の再生

安らぎと賑わいの
空間創出

自然や親水機能
の保全・創出

水辺の魅力
創出・発信

県民誰もが川に愛着を持ち
ふるさとを実感できる
「川の国 埼玉」の実現

地域による持続的・自立的な
改善行動・維持管理活動

3

埼玉県

「川の国埼玉」のポテンシャル

日本一
川幅（堤防間の距離）
2,537m
荒川（鴻巣市～寄居町間）
東武スカイツリー4つ分の長さ

利根川（群馬町）
ライン下り・ラフティング
2,537m
荒川（鴻巣市・寄居町）

全国第2位
3.9%
利根川水系

河川面積 150km²
山手線の内側の約2.4倍
利根川水系と
荒川水系の流域界

荒川水系

2

埼玉県

埼玉県の河川の水質

埼玉県内のBOD年度平均値

昭和47年度 28 mg/L

令和6年度 2.0 mg/L

綾瀬川 内匠橋

近年のBODは
昭和47年度と比較して
大きく改善

昭和47年度 200 mg/L

令和6年度 2.9 mg/L

4

■事例発表 県内河川の水質改善の取組について

埼玉県

水質改善に向けた取り組み

工場・事業場への規制

立入検査
1319件(R6)

生活排水対策

下水道普及率
4.8%(S40) → 84.0%(R6)

河川等の水質調査

常時監視
県内44河川 94地点

清掃・保全活動

・川の国広援団
・SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト

5

埼玉県

過去の取組

綾瀬川ワースト1とこん脱却大作戦

綾瀬川は国土交通省の水質調査で昭和55年から15年連続ワースト1を記録
→行政・県民・団体・企業と流域が一丸となって水質浄化に取り組む
取組内容
・河川浄化団体や行政による環境学習や講習会の開催
・「家庭の生活排水についての心がけ」チェックシートの配布 など

昭和48年度 18mg/L

令和6年度 3.3mg/L

綾瀬川 梶戸橋

年度

548 551 554 557 560 563 566 569 572 575 578 581 584 587 590 593 596 599 602 605 608 611 614 617 620 623 626 629 632 635 638 641 644 647 650 653 656 659 662 665 668 671 674 677 680 683 686

6

埼玉県

SAITAMALリバーサポーターズプロジェクト(リバサポ)

プロジェクト概要 「川を愛し、守り育む意識の向上」を目指す

企業サポーター
385社

個人サポーター
21,893人

SAITAMA / 川の国広援団
768団体

新規事業化
既存事業PR
社会貢献
県内経済の活性化
企業イメージ向上
社会課題への対応

企業との連携
若年層・家族・子供の参加増
活動の活性化
持続的な組織化

川の事業への参加
体験ボランティア
川を守る気持ち
川への愛着

県民や企業の参加、
個人・企業・川の
国広援団の連携の
促進、活動情報の
発信により川の活
動を活性化

令和7年3月末時点

7

埼玉県

リバサポにおけるマッチング事例

草加パドラーズ × 新和環境 × 野崎興業

カヌーでのごみ拾い体験



8

「川の国応援団」の方々

草加パドラーズ



綾瀬川左岸のゴミ拾い活動を長く実施
水辺環境の保全・カヌーに親しむ

FSC サルベージ協会



河川内不法投棄の自転車・バイクの引き上げや、
引き上げた物でもコメントを作り展示するなどの
浄化活動や啓発運動を行う



ロープ掛け込み



みんなで作って引く



自転車引き上げ

獨協大学経済学部米山ゼミ
「伝右川再生に向けた
支援プロジェクト」チーム

- 川の再生活動に関する啓発活動
- NPO、市民団体等と連携した川の再生活動
- 環境教育、環境学習、及び研究発表

9

終わりに

皆様のおかげで
県内河川のBODが大幅に改善！

綾瀬川の様子も・・・



昭和48年



令和元年

泡がなくなってる！

川の国応援団を始めとする各団体・企業様には
多大なる御協力をいただき厚くお礼申し上げます

10

15

熊谷女子高等学校 自然科学部の 活動紹介



県の魚・ムサシトミヨ

1


ムサシトミヨの生息地



ムサシトミヨの生息地
元荒川

ムサシトミヨの生息地
画像引用：埼玉県ホームページ

3



野生での生息数：
約4754匹
(令和3年度)

野生下での生息地：
一ヶ所のみ

埼玉県レッドリスト：
絶滅危惧種 I A類

2

元荒川上流について



現地の様子



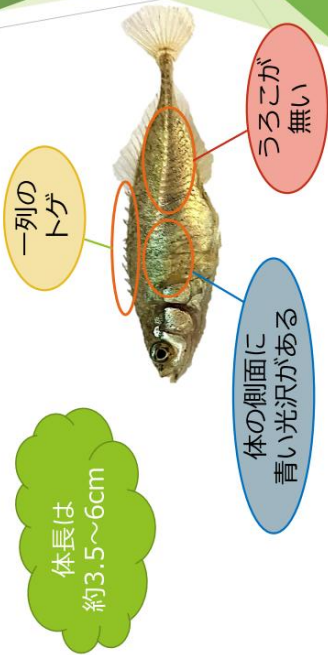
ムサシトミヨ保護センター

4

1. ムサシトミヨの生態

5

ムサシトミヨの特徴



6

ムサシトミヨの性別



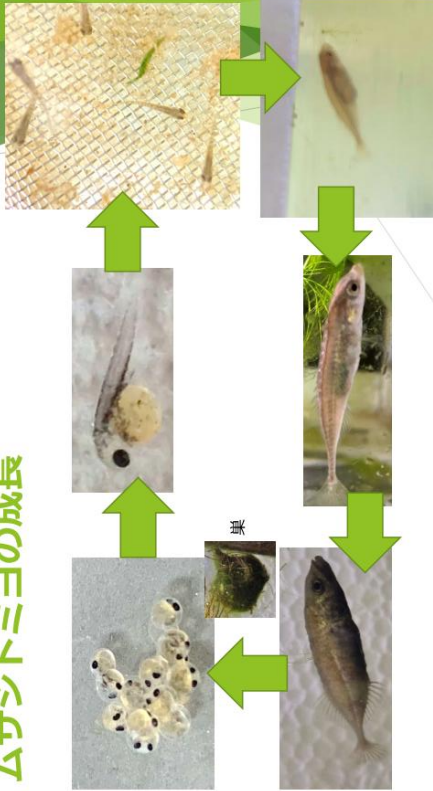
7

ムサシトミヨの 巣作り



8

ムサシトミヨの成長



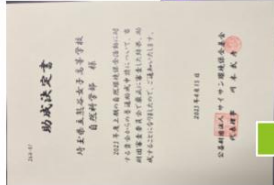
9

熊女とムサシトミヨの関係



11

2. 熊谷女子高校とムサシトミヨ



水槽 1 台目



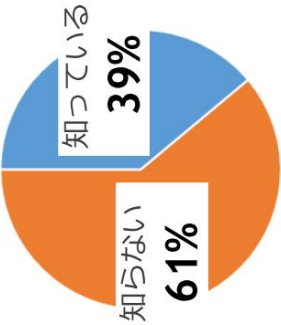
水槽 2 台目
& 初期メンバー



10

12

熊女生にアンケート(令和4年に実施)
ムサシトミヨを...



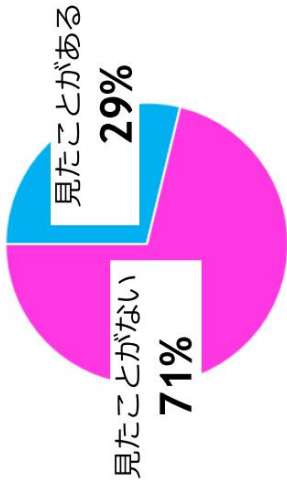
13

ムサシトミヨ飼育・2年目の様子



15

熊女生にアンケート
熊女で飼育しているムサシトミヨを...



14

ムサシトミヨの繁殖



孵化装置

設置した様子

16

ムサシトミヨの保護活動に参加



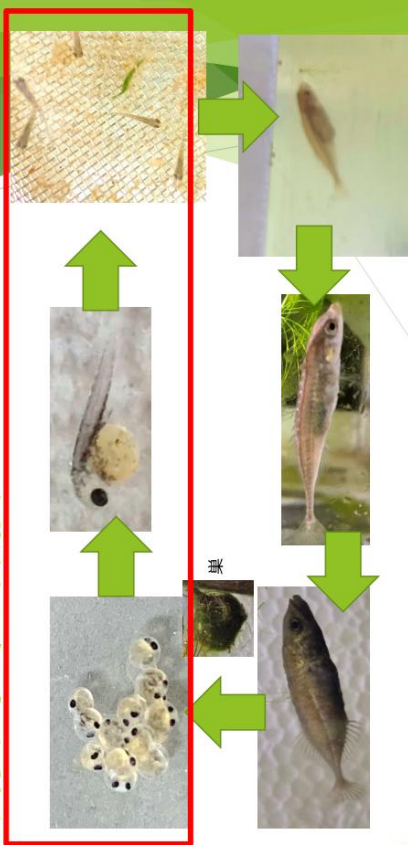
19

自然科学部・生物班の研究



20

ムサシトミヨの成長



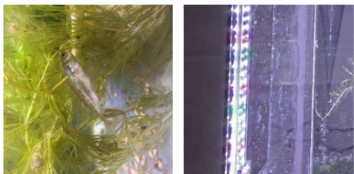
17

埼玉新聞で
本校の活動が
取り上げられました




18

ムサシトミヨの好む環境とは？



↑ ↑



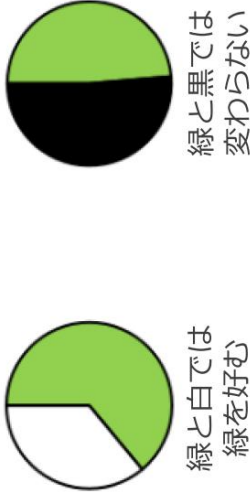
21

つまり...？



23

結果



緑と黒では
変わらない

緑と白では
緑を好む

22

結果



暗所と明所では
暗所を好む

ムサシトミヨは暗所を好んでいる

24

現在の水槽の様子



25

今後の展望

- ・広報活動でムサシトミヨの知名度を向上させる
- ・ムサシトミヨの繁殖に力を入れる
- ・生態を知るための実験



27

3. 今後の展望

ご清聴ありがとうございました



26

28



みんなが選ぶ

リバサポアワード 授賞式

令和8年2月14日

1



リバサポアワード 活動部門

2



春日部市カヌー協会

「カヌーで大落古利根川のゴミを拾い環境美化
と春日部市のかまちづくり」



古利根川のゴミ問題をきっかけに、
毎月2回カヌー清掃や地元の親子
に向けた体験教室を実施している。
今年の8月に国交省から同市へ
「大落古利根川かまちづくり計画」
登録証が伝達された。

3



埼玉県立川越女子高等学校
生物部

「荒川水系の小型エビの研究と準絶滅危種ヌカエビの保全」



カワリヌカエビ属を調査し、2024年から
準絶滅危種ヌカエビの保全を開始し、
ピオトープでの繁殖を確認した。
また、ピオトープにおける月ごとのヌカエビ
の個体数調査や水質変化の影響に
ついて研究している。

4



活動部門

新方川をきれいにする会

「取り戻そう川の笑顔」



この一年間も定期的に「ブラごみ」を中心に新方川両岸の清掃活動を実施した。清掃活動にとどまらず、火災の危険がある枯れ草や、ポイ捨て、不法投棄への注意喚起も行った。今では、新方川に魚類、野鳥も見受けられるようになった。

5



活動部門

ホトケドジョウ調査会 株式会社タムラ製作所坂戸事業所

ホトケドジョウ調査会と合同で生物多様性の取組



タムラ製作所坂戸事業所は、2024年12月から、坂戸市が拠点のホトケドジョウ調査会とともに、絶滅危惧種ⅠA類であるホトケドジョウの生息調査や生育環境整備、子ども達への教育を行っている。

6



活動部門

明治安田生命保険相互会社 埼玉本部 株式会社Symphony Innovations



埼玉の川の魅力発信！
親子で知れる・学べる体験イベント

リバサポ全体の盛り上げに寄与できる
ような「川遊び」「水辺の生き物」
「川の安全」をテーマとしたワークショップ
を企画・実施した。

7



活動部門

やなせ川いかだラリー 実行委員会

川の探検隊

柳瀬川に親しみ、河川やその周辺の自然環境に関心を持つ
とともに、参加者相互の親睦と交流を図る。



河川氾濫に悩む住民の積極的に河川に関わってこうという住民意識から、「川の学習会」を発足。
環境学習や水質検査を通じ水質改善に貢献し、現在は親子参加型リバーウォッシングを実施。

8



やなせ川いかだラリー
実行委員会



やなせ川いかだラリー

いかだラリーを通じて、柳瀬川に親しみを持つだけでなく、学習を行い、河川の浄化や河川敷の環境改善などについて考え、実践する。



かつて台風の被害に苦しめられていた柳瀬川で開催しているやなせ川いかだラリーは、川の環境改善と地域活性化に貢献し、子どもから大人まで楽しめる夏の風物詩として定着している。

9



春日部市カヌー協会

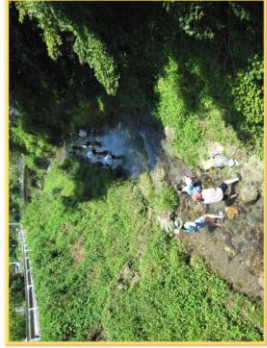


「カヌーで大落古利根川のゴミを拾い環境美化と春日部市のかわまちづくり」

11



埼玉県立川越女子高等学校
生物部



「荒川水系の小型エビの研究と準絶滅危惧種又カエビの保全」

10

リバサポアワード 活動部門 受賞者



SAITAMA / さいたま市

12



活動部門 受賞 新方川をきれいにする会



「取り戻そう川の笑顔」

13



魅力発信部門 (写真)

「埼玉は川イイ！フォト&動画コンテスト」で選定された入選作品5件



15



リバサポアワード 魅力発信部門



魅力発信部門 (動画)

「埼玉は川イイ！フォト&動画コンテスト」で選定された入選作品5件



14

16



リバサポアワード

魅力発信部門
受賞作品



SAITAMA / 川村賞

17



魅力発信部門 (動画) 受賞



荒川 長瀬の風景

投稿者: fur_min

19



魅力発信部門 (写真) 受賞



風布川

投稿者: happiness7122023



SAITAMA / 川村賞

リバサポアワード

川の国貢献賞

川の共生・保全に貢献した長年にわたる県民（団体）
・企業の活動に対して県から感謝を伝える賞。

18

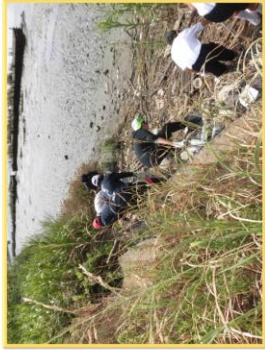
20

川カハの国貢献賞
2025
中川やしお子どもの水辺
運営協議会
『水辺の楽校で子どもたちの遊びや自然体験など積極的に取り組み、
自然環境の大切さを理解し、心豊かな人間性を育む』



不法投棄に悩まされた中川周辺を「中川やしおフラインクパーク」として整備し、市民の憩いの場としました。国土交通省、文科省、環境省と協力して開校した「中川やしお水辺の楽校」を中心に、地域住民が水辺に親しみ、防災やレクリエーションなど多様な活動を通じて地域コミュニティを活性化。開校10周年を控え、さらなる活動の発展を目指しています。

川カハの国貢献賞
2025
荒川夢クラブ
『荒川流域の子どもと地域が共に育む、環境保全と交流の未来づくり』



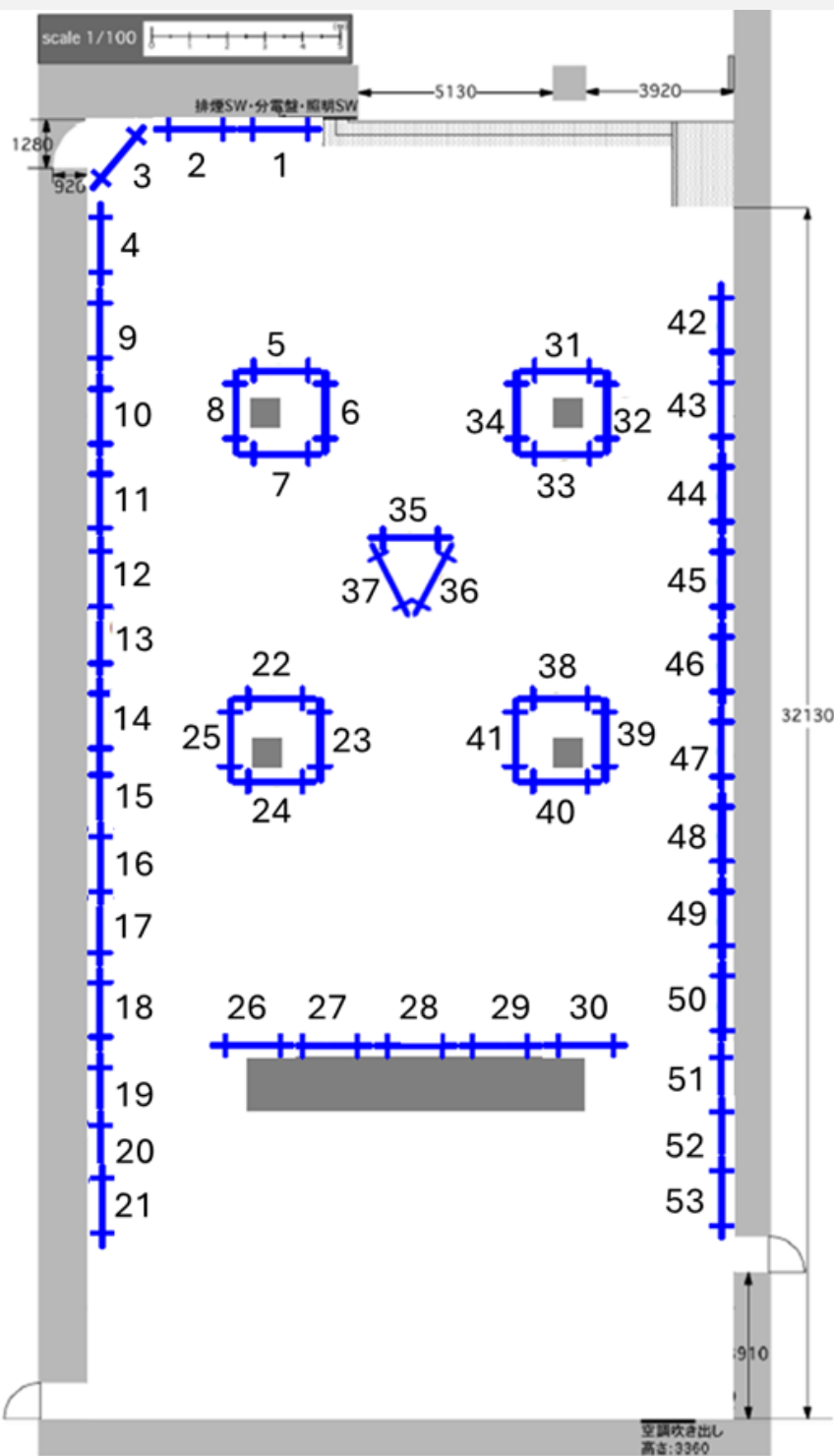
2001年に発足し、20年以上にわたり荒川流域で川の体験活動、清掃、水質・生物調査、外来種駆除などの自然保護活動を実施。幼稚園から高校まで環境教育や国際交流の出前授業を行い、新規団体の活動も支援。地域と子どもたちと共に、環境保全と社会貢献を目指している。

第2部 ポスターセッション

■発表数:53

■発表団体:川で活動・研究する42の団体・学校・企業・自治体
(複数発表あり)

■会場配置



■発表団体一覧

<<No.順>>

No.	発表団体
1	埼玉県水環境課(リバサポ)
2	リバサポアワードとは？
3	リバサポアワード 魅力発信部門(動画)
4	リバサポアワード 魅力発信部門(写真)
5	リバサポアワード 魅力発信部門(写真)
6	リバサポアワード 活動部門(新方川をきれいにする会/川越女子高等学校生物部)
7	リバサポアワード 活動部門 (春日部市カヌー協会/株式会社タムラ製作所・ホトケドジョウ調査会)
8	リバサポアワード 活動部門(やなせ川いかだラリー実行委員会)
9	リバサポアワード 活動部門 (明治安田生命保険相互会社 埼玉県本部、株式会社Symphony Innovations)
10	リバサポアワード 川の国貢献賞 (中川やしお子どもの水辺運営協議会/荒川夢クラブ)
11	明治安田生命保険相互会社 埼玉本部
12	株式会社 Symphony Innovations
13	Plus-R
14	埼玉県水環境課
15	一般社団法人 埼玉県浄化槽協会
16	埼玉県環境科学国際センター
17	埼玉県環境科学国際センター、国立環境研究所、海辺つくり研究会、国土技術政策総合研究所、神奈川大学、理化学研究所、東京都環境科学研究所
18	埼玉県環境科学国際センター
19	公益社団法人 日本水環境学会 関東支部
20	千葉工業大学 分子生態工学研究室
21	千葉工業大学 文化会環境科学研究会
22	隅田川流域クリーンキャンペーン実行委員会
23	埼玉県立川の博物館
24	埼玉県環境科学国際センター
25	埼玉県環境科学国際センター、埼玉県水環境課、埼玉県水産研究所、さいたま水族館
26	埼玉県立久喜北陽高等学校 理科部
27	埼玉県立杉戸高等学校理科部
28	埼玉県立越谷北高等学校生物部
29	熊谷女子高等学校 自然科学部
30	栄東中学・高等学校 理科研究部
31	笹目川の環境を守る会
32	比企自然学校
33	「川の日」ワークショップ関東大会実行委員会(事務局 NPO多摩川センター)
34	彩の国環境大学修了生の会
35	吹上清流の会
36	黒目川に親しむ会
37	山室湧水路の清流保全プロジェクト
38	NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会

■発表団体一覧

<<No.順>>

No.	発表団体
39	ホトケドジョウ調査会
40	ホトケドジョウ調査会
41	ホトケドジョウ調査会
42	戸田の川を考える会
43	戸田の川を考える会
44	特定非営利活動法人荒川クリーンエイドフォーラム
45	荒川夢クラブ
46	熊谷市ムサシミヨを守る会
47	学校法人シモゾノ学園大宮国際動物専門学校
48	獨協大学経済学部国際環境経済学科「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」
49	香川大学 創造工学部 吉田研究室
50	栄東中学・高等学校 理科学研究部
51	城西大学理学部化学科環境生命科学研究室
52	城西大学理学部化学科環境生命科学研究室
53	城西大学理学部化学科環境生命科学研究室

■発表団体一覧

《五十音順》

※ No.1－10及びNo.14 記載省略

No.	発表団体
45	荒川夢クラブ
15	一般社団法人 埼玉県浄化槽協会
38	NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会
49	香川大学 創造工学部 吉田研究室
47	学校法人シモゾノ学園大宮国際動物専門学校
12	株式会社 Symphony Innovations
33	「川の日」ワークショップ関東大会実行委員会(事務局 NPO多摩川センター)
46	熊谷市ムサシトミヨを守る会
36	黒目川に親しむ会
19	公益社団法人 日本水環境学会 関東支部
17	埼玉県環境科学国際センター、国立環境研究所、海辺つくり研究会、 国土技術政策総合研究所、神奈川大学、理化学研究所、東京都環境科学研究所
25	埼玉県環境科学国際センター、埼玉県水環境課、埼玉県水産研究所、 さいたま水族館
16	埼玉県環境科学国際センター
18	埼玉県環境科学国際センター
24	埼玉県環境科学国際センター
23	埼玉県立川の博物館
26	埼玉県立久喜北陽高等学校 理科部
29	熊谷女子高等学校 自然科学部
28	埼玉県立越谷北高等学校生物部
30	栄東中学・高等学校 理科研究部
50	栄東中学・高等学校 理科研究部
34	彩の国環境大学修了生の会
27	埼玉県立杉戸高等学校理科部
31	笹目川の環境を守る会
51	城西大学理学部化学科環境生命科学研究室
52	城西大学理学部化学科環境生命科学研究室
53	城西大学理学部化学科環境生命科学研究室
22	隅田川流域クリーンキャンペーン実行委員会
20	千葉工業大学 分子生態工学研究室
21	千葉工業大学 文化会環境科学研究会
44	特定非営利活動法人荒川クリーンエイドフォーラム
42	戸田の川を考える会
43	戸田の川を考える会
48	獨協大学経済学部国際環境経済学科「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」
32	比企自然学校
35	吹上清流の会
13	Plus-R
39	ホトケドジョウ調査会
40	ホトケドジョウ調査会
41	ホトケドジョウ調査会
11	明治安田生命保険相互会社 埼玉本部
37	山室湧水路の清流保全プロジェクト

■発表団体一覧

≪ポスタータイトル・説明者・概要≫

No.	テーマ	活動場所	団体名	ポスターのタイトル	説明者氏名
1	その他	—	埼玉県水環境課(リバサポ)	埼玉県水環境課(リバサポ)	—
リバサポの紹介。					
2	その他	—	リバサポアワードとは？	リバサポアワードとは？	—
リバサポアワードの紹介。					
3	その他	—	リバサポアワード	魅力発信部門(動画)	—
リバサポアワード魅力発信部門(動画)の受賞動画の上映。					
4	その他	—	リバサポアワード	魅力発信部門(写真)	—
リバサポアワード魅力発信部門(写真)の受賞写真の展示。					
5	その他	—	リバサポアワード	魅力発信部門(写真)	—
リバサポアワード魅力発信部門(写真)の受賞写真の展示。					
6	その他	—	リバサポアワード	活動部門(新方川をきれいにする会/川越女子高等学校生物部)	—
リバサポアワード活動部門受賞者。					
7	その他	—	リバサポアワード	活動部門(春日部市カヌー協会/株式会社タムラ製作所・ホトケドジョウ調査会)	—
リバサポアワード活動部門受賞者。					
8	その他	—	リバサポアワード	活動部門(やなせ川いかだラリー実行委員会)	—
リバサポアワード活動部門受賞者。					
9	その他	—	リバサポアワード	活動部門(明治安田生命保険相互会社 埼玉県本部・株式会社Symphony Innovations)	—
リバサポアワード活動部門受賞者。					
10	その他	—	リバサポアワード	川の国貢献賞(中川やしお子どもの水辺運営協議会/荒川夢クラブ)	—
リバサポアワード川の国貢献賞受賞者					
11	その他	全県	明治安田生命保険相互会社 埼玉本部	「リバサポアワード」の歩み	明治安田生命保険相互会社 埼玉本部
今年度は新たにベジチェックを実施。更にこれまでの当社におけるリバサポの取組についてご紹介いたします。					
12	その他	県外	株式会社 Symphony Innovations	PORT(=港)プロジェクト	株式会社Symphony Innovations
株式会社Symphony Innovationsが手がける「PORTプロジェクト」が提供するサービスの紹介。 1. セカンドキャリア・サードキャリアの「ステージづくり」 2. ‘感じて動く’ テーマを持ったイベントづくり 3. 多彩な‘才能×キャリア’ 紹介 4. ‘安全を最優先する文化’ づくり					
13	生物	全県	Plus-R	川の水中写真家 Saitama_Underwater	市塚 徹
【海なし県埼玉にもある素敵な水中風景】をテーマに川の水中写真を撮影しています。埼玉県内を流れる川の中上流域での水中生物や半水面の撮影。特別な許可を得てムサシミヨ・ムジナモの撮影を行っています。					

■発表団体一覧

≪ポスタータイトル・説明者・概要≫

No.	テーマ	活動場所	団体名	ポスターのタイトル	説明者氏名
14	水質	全県	埼玉県水環境課	浄化槽の維持管理について	埼玉県水環境課
浄化槽の3つの維持管理(保守点検・清掃・法定検査)のご紹介。					
15	水質	全県	一般社団法人 埼玉県浄化槽協会	埼玉県浄化槽協会の紹介	一般社団法人 埼玉県浄化槽協会
浄化槽の普及推進や浄化槽の製造、施工、保守点検、清掃の適正化を図り、県民の生活環境の保全と公衆衛生向上の寄与を目的に、埼玉県浄化槽協会が実施している取組、事業を紹介する。					
16	生物 水質	全県	埼玉県環境科学国際センター	埼玉県環境科学国際センター水環境担当の活動紹介	埼玉県環境科学国際センター
埼玉県環境科学国際センターは、学習施設と研究所が一体となった環境科学の中核機関です。当センターの環境学習に関する講座やイベントの紹介、水環境に関する調査研究事例の紹介を行います。					
17	生物	県外	埼玉県環境科学国際センター、国立環境研究所、海辺つくり研究会、国土技術政策総合研究所、神奈川大学、理化学研究所、東京都環境科学研究所	沿岸環境・生態系デジタルツインに関するプロジェクト研究の紹介	埼玉県環境科学国際センター 見島 伊織
環境省の環境研究総合推進費課題として「沿岸環境・生態系デジタルツインの開発と実践」と題した共同研究を進めています。本研究の内容について紹介いたします。					
18	生物	県西	埼玉県環境科学国際センター	川の感動♥体験in東松山	田中 仁志
令和7年7月、県内小学生を対象に東松山市都幾川で実施した川の生き物調査体験と生き物カードゲームの様子を報告します。					
19	その他	県外	公益社団法人 日本水環境学会 関東支部	公益社団法人 日本水環境学会 関東支部	公益社団法人 日本水環境学会 関東支部
当支部では、良好な水環境の保全及び創造、並びに学術文化の発展を目指し、関東地区における水環境に関する分野の学術的調査・研究の推進及び知識の普及のための活動を行っています。					
20	生物	県外	千葉工業大学 分子生態工学研究室	底生生物および付着珪藻による河川環境評価	千葉工業大学 分子生態工学研究室
千葉県南部における河川環境の評価および千葉県版河川環境マップの作製にあたって、季節変化による底生生物および付着珪藻の総数や優占種に着目し、河川環境に変化が生じるかについて行っている調査の現状発表。					
21	水質	県外	千葉工業大学 文化会環境科学研究会	西印旛沼における水質調査結果の報告(2012～2025)	千葉工業大学 文化会環境科学研究会
千葉県の水道水源であり富栄養化の進行した湖沼として知られる印旛沼(千葉県印西市)を実際に調査し、水質調査を通して今の自分たちに何ができるかを考える。					
22	その他	県外	隅田川流域クリーンキャンペーン実行委員会	隅田川クリーン大作戦	伊藤 浩子
2005年から隅田川のテラス約6kmを4ルートに分かれ、清掃活動を市民が中心に行っています。周辺の自治体や企業等から協賛、協力をいただき、2025年は第18回。清掃活動を通じて、川沿いの景観、文化・歴史などに触れ、隅田川への愛着を高めています。その様子を紹介します。					
23	生物	県西	埼玉県立川の博物館	トウキョウサンショウウオの生息地再生活動	藤田 宏之
厳しい環境に置かれている東松山市南部のトウキョウサンショウウオ生息地の環境整備・再生活動を紹介します。					
24	防災	全県	埼玉県環境科学国際センター	身近な水資源をまもることの重要性について	柿本 貴志
内閣官房水循環政策本部事務局が令和7年3月に策定した災害時地下水利用ガイドラインについて紹介する。地域の水資源(河川水、地下水、湧水)等をまもり、親しむことの重要性を災害時対応の実態から述べる。					
25	生物	全県	埼玉県環境科学国際センター、埼玉県水環境課、埼玉県水産研究所、さいたま水族館	見えない魚を「水」から探る ―科学と地域がつくる河川の未来―	埼玉県環境科学国際センター 木持 謙
魚の姿を「水」から読み解く新しい調査技術「環境DNA分析」で、県内の川のおさかなマップを作り、公開しています。見えないいのちを知り、地域とともに埼玉の川を未来に伝えます。					
26	生物	県東	埼玉県立久喜北陽高等学校 理科部	久喜北陽高校周辺の用水路に生息する生物の生態	埼玉県立久喜北陽高等学校 理科部
久喜北陽高校周辺の用水路を3つのポイントに分け、それぞれの植生や水質、生態系などを一定期間調査し、各ポイントの違いについて、データをまとめて考察し、発表する。					

■発表団体一覧

≪ポスタータイトル・説明者・概要≫

No.	テーマ	活動場所	団体名	ポスターのタイトル	説明者氏名
27	水質	県東	埼玉県立杉戸高等学校理科部	大落古利根川の水質調査ver3	埼玉県立杉戸高等学校理科部
通学路途中にある大落古利根川に対して季節や気候による水質、水量の変化に興味を持ち、調査を実施している。					
28	生物	全県	埼玉県立越谷北高等学校生物部	東秩父村槻川の動植物総合調査(チームアライグマ合同調査報告)	内海 奏汰、大熊 凌、金子 蒼輔、永澤 志保、二ノ宮 大知
チームアライグマは、生物多様性の保全を目的とした活動を行う埼玉県内の高校自然科学系部活動による合同研究グループである。2025年6月1日に東秩父村槻川で実施した合同調査において記録された動植物について報告する。					
29	生物	県北	熊谷女子高等学校 自然科学部	熊谷女子高校自然科学部の活動について	熊谷女子高校自然科学部
熊谷女子高校自然科学部では3年前からムサシトミヨの保護活動の一環として飼育を行っています。県の魚にも指定されているムサシトミヨは熊谷市を流れる元荒川にのみ生息しています。熊女が取り組むムサシトミヨについての研究発表を行います。					
30	水質	県東 県南	栄東中学・高等学校 理科研究部	芝川上流～下流の水質調査の結果を踏まえた鳩ヶ谷大橋周辺における窒素等の急増加とプランクトン数の推移について	平田 璃音、古里 優磨、宗像 宏樹、藪田 清一郎、魚川 優太、八木 里磨
芝川上流～下流の6地点において、毎年1～2回実施している水質の一斉縦断調査を2025年度も7月に実施をした。これまでの一斉縦断調査の結果を踏まえ、2025年7月には川口市の鳩ヶ谷大橋周辺を対象に水質の追加調査をおこなった。これらの結果(鳩ヶ谷大橋周辺部の窒素等の急増加、プランクトン数)について発表をする。					
31	その他	県南	笹目川の環境を守る会	笹目川の環境を守る会の活動	笹目川の環境を守る会
笹目川の環境を守る会は、平成17年の設立以来、笹目川の清掃活動、水質調査、生きもの調べ等自然観察会の開催、環境保全意識の啓発活動に取り組んでいる。活動のあらましを紹介する。					
32	文化	県西	比企自然学校	比企自然学校「川の学校」	桜井 行雄
比企自然学校は2011年設立以来「川の学校」で自然体験学習(生き物調べ、川遊び)に取り組み、カヌー工房を立ち上げ自分たちで使うカヌーはすべて手作りしています。主に活動している都幾川は河川改修工事も進み、活動再開できる環境が整いつつあります。					
33	その他	県北	「川の日」ワークショップ関東大会実行委員会(事務局 NPO多摩川センター)	第18回「川の日」ワークショップ関東大会in本庄 早稲田【参加募集】	堺 かなえ
「川の日」ワークショップ関東大会は、川や水辺で活動する世代、地域、立場を超えた交流や情報共有、とくに学生や子ども達の発表、応援の場としても開催しています。 身近な川や用水、池沼など多様な水辺、テーマの取り組みの発表、参加を募集します。					
34	生物 水質	県南	彩の国環境大学修了生の会	水辺の自然観察会&水質調査学習活動	彩の国環境大学修了生の会
当団体は県主催の「彩の国環境大学」修了生の有志が1998年設立以来、特に水辺の生物多様性(自然観察会での生き物調査&自然体験学習等)及び水質調査学習など会員が学んだ知識や経験を活かした環境活動の取り組みを紹介します。					
35	文化	県北	吹上清流の会	みんなで育てようチャレンジする子！ 環境に関心もてる子！	間 加奈子
①吹上清流の会は2019年11月夫婦で散歩しながらのゴミ拾いがスタートでした。今は、吹上地区の子供や住民を中心に毎月第二土曜日午前中に清掃活動しています。1月はごみ拾いしながらのロゲイニング大会、9月はコブ白鳥カップ(ボートレース)。 ②お昼からは川辺にメンバーのピアニストと都内より音大生たちが演奏に来てくれ、地域住民の楽しみのひとつになっています。春と秋にチャレンジコンサートを開催。					
36	生物 水質 防災 文化	県南	黒目川に親しむ会	黒目川の川づくり	黒目川に親しむ会
川づくり活動として、川まつり、魚とり教室、アユを増やす川耕し、定例魚類調査、水質調査、川ゴミ調査、小学生幼稚園の川教室等です。					
37	生物	県南	山室湧水路の清流保全プロジェクト	絶滅の危機に近い、富士見市のホトケドジョウ	守山 義一
県RDB動物編2018に搭載されたホトケドジョウが、ハゼ科ウギギリ類の侵入により、危機的現状を紹介する。					
38	その他	県北	NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会	荒川の恵みと熊谷を考える集い	江原 仁
これまで28年間継続してきた活動のまとめについて報告します。					

■発表団体一覧

≪ポスタータイトル・説明者・概要≫

No.	テーマ	活動場所	団体名	ポスターのタイトル	説明者氏名
39	生物	県西	ホトケドジョウ調査会	ホトケドジョウ調査会の活動	稲垣 喜弘
「ホトケドジョウ調査会」は、坂戸及び日高市内で生息が確認されたホトケドジョウの越辺川流域の調査をととして、ホトケドジョウやその生息環境を理解し、保全の意識を醸成し、成果を地域に還元することを目的として活動している。2025年度活動のあらましを紹介する。					
40	生物	県西	ホトケドジョウ調査会	ホトケドジョウ調査会の活動	稲垣 喜弘
ホトケドジョウ調査会は、2021年から坂戸及び日高市内で生息が確認されたホトケドジョウの越辺川流域の調査をととして、ホトケドジョウやその生息環境を理解し、保全の意識を醸成し、成果を地域に還元することを目的として活動しており2025年度の活動状況を紹介します。					
41	生物	県西	ホトケドジョウ調査会	越辺川流域に生き残ったホトケドジョウ	稲垣 喜弘
地域連携、モニタリング、保全活動、環境教育をキーワードに活動した今年度の結果報告をする。					
42	水質	全県	戸田の川を考える会	浄化槽のマナー	戸田の川を考える会
浄化槽のマナーについて。					
43	その他	県西	戸田の川を考える会	荒川の源流	戸田の川を考える会
日本の源流で最も美しい源流。					
44	その他	全県	特定非営利活動法人荒川クリーンエイドフォーラム	気候変動下の荒川クリーンエイド埼玉県会場は	林 美恵子
地球温暖化、気候変動の影響か、猛暑や台風の多発で荒川クリーンエイド会場が中止・延期になることがある中、埼玉県の各会場の頑張っているようすを紹介する。					
45	その他	全県	荒川夢クラブ	気候変動下の川の活動は	林 美恵子
地球温暖化、気候変動の影響か、猛暑や台風の多発で川のゴミ拾い、子供たちの川の体験活動や調査活動などが中止となることがある中、活動の継続を目指しているようすを紹介する。					
46	生物	県北	熊谷市ムサシミヨを守る会	ムサシミヨの繁殖取組および水中画	熊谷市ムサシミヨをまもる会 会員
水中画(ムサシミヨ)、学校関係活動・取組、未来につなげる活動。					
47	生物	県南 県北	学校法人シモゾノ学園大宮国際動物専門学校	大宮国際動物専門学校が行っているムサシミヨの保全活動や継代繁殖活動の報告	大宮国際動物専門学校 ムサシミヨ管理チーム
①大宮国際動物専門学校の自然環境・動物飼育学科では、例年、埼玉県指定の天然記念物である熊谷市のムサシミヨ生息地にて、ムサシミヨをまもる会と連携し、環境整備や美化活動を行っている。2025年度も行ったので、その活動の発表をする。 ②大宮国際動物専門学校ではムサシミヨの飼育及び繁殖を行い、普及活動やムサシミヨの生息域外保全を行っている。その中でも繁殖について、当校では水族館等の施設以外では極めて成功例が少ない、「水槽内での継代」に成功しており、今年度も、継代に成功しているの で、生体展示と併せて発表をする。					
48	水質	県南	獨協大学経済学部国際環境経済学科 「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」	伝右川再生に向けた支援プロジェクト活動報告	松森 智久
①「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」は2025年度も、伝右川のゴミ拾い活動、水質調査、生きもの調査、カヌー体験会を実施した。これらの活動の概要を報告する。 ②2024年度と2025年度、草加市立花栗南小学校5年生に「ふるさと草加学習」の一環として「伝右川」をテーマにした授業に協力した。この授業協力に関して報告する。 ③「第11回 伝右川再生会議2025」について報告する。 ④川口市役所、草加市役所から提供いただいた、伝右川流域の川口市、草加市の地区ごとの汚水処理人口に関するデータをもとに、生活排水の処理に関する実態について発表する。					
49	水質	県外	香川大学 創造工学部 吉田研究室	廃棄牡蠣殻由来の吸着材開発と吸着能の検討	吉田 秀典
廃棄牡蠣殻由来の吸着材開発と吸着能の検討についての説明。					
50	生物	県東 県南	栄東中学・高等学校 理科研究部	芝川中流(さいたま市宮後橋付近)の川岸における2025年夏～秋の植生	野中 陽仁、中森 遼太郎、 星野 幸仁、室井 帆貴、 荒井 賢一
芝川中流(さいたま市の宮後橋の周辺地域)において、2025年7月下旬及び10月上旬の2回、川岸の陸地に分布する植生の調査をおこなった。調査をおこなった複数の地点に共通して、カナムグラやアレチウリ等の分布が確認された。この地域の植生の分布と考えられる原因などについて発表をおこなう。					

■発表団体一覧

≪ポスタータイトル・説明者・概要≫

No.	テーマ	活動場所	団体名	ポスターのタイトル	説明者氏名
51	生物	県南	城西大学理学部化学科環境生命科学研究室	環境DNA分析を用いたトウキョウサンショウウオの生息地の探索	春名 雄斗
本研究室では、環境DNA分析を用いて水圏生物の研究を行っている。 本発表では、トウキョウサンショウウオ特異的プライマー・プローブセットを開発し、本種の生息地の探索を行っている途中経過について報告する。					
52	生物	県外	城西大学理学部化学科環境生命科学研究室	生息地下流の沢でのツクバハコネサンショウウオ環境DNA捕集の試み	鈴木 裕貴
本研究室では、環境DNA分析を用いて水圏生物の研究を行っている。アクセスの良い下流域での採水によって上流部にツクバハコネサンショウウオが生息しているか否かを判定すべく、希少種の環境DNA捕集について様々な方法を試している。現在までの取り組みと結果について報告する。					
53	生物	県外	城西大学理学部化学科環境生命科学研究室	小・中学校での環境教育に利用可能な現場でのアベサンショウウオ	小暮 雄仁
本研究室では、環境DNA分析を用いて水圏生物の研究を行っている。 小・中学校での環境教育に利用できるように簡易・迅速・安全な分析手法を開発し、現場でアベサンショウウオが生息するか否かを判定できる分析系の試みについて報告する。					

第3部 分科会

分科会	タイトル	会場
1	「川ゴミ」 分科会 プラスチックごみの現状と課題、市民への啓発 運営委員：江原仁、柳沢忠、林美恵子	5C 会議室
2	「川と防災」 分科会 川と自然災害、市民の防災活動 運営委員：大塚克也	5D 会議室
3	「豊かな水辺空間づくり」 分科会 河川利用、親水、川づくり 運営委員：小林一己、堺かなえ	5B 会議室
4	「水辺の生物」 分科会 水辺の生き物の調査研究、保護、環境学習 運営委員：守山義一、小林光春、藤田宏之	7A 会議室
5	「水質改善」 分科会 河川や湖沼の水質調査、改善 運営委員：大石昌男、角田道郎、幾島淑美	7B 会議室

■分科会会場マップ



リバーサポ公式SNSをフォローして リバーサポーターになろう！

 友だち追加



読み取ったら
「追加」ボタンを押してください。



Facebook



X



Instagram



【問合せ先】

埼玉県環境部水環境課 浄化槽・豊かな川づくり担当
048-830-3088 / a3070-13@pref.saitama.lg.jp